

一日の安全作業サイクル

全員参加の朝礼

TMB・RKYの実施

一声喚起

安全
作業

ヒヤリ・ハット発掘活動(改善)

ワンストップ指差呼称(STOP LOOK)

中間ミーティング

一声喚起

安全
作業

ヒヤリ・ハット発掘活動(改善)

ワンストップ指差呼称(STOP LOOK)

作業終了後の3S

1.社員・協力会全員参加の朝礼

ラジオ体操

肩たたき

安全スピーチ

対面チェック

全員で
指差呼称



全員が安全意識の高揚を高める為に、本人が現場で経験した事や、今後作業するに於いて役に立つ話を日々、朝礼当番を決めて実施しています。

また、普段は人前で喋る機会の少ない人に、大勢の人の前で話しをする訓練にも繋げている。

6月の安全週間準備期間に光工業(株)と各協力会社の社員及びその家族から提出された安全標語上位30位を日捲りで安全当番が読み上げ年間を通して、安全意識向上に役立てています。

また、指差呼称の定着と意識付けのために1週間単位で、確認項目を変え全員で毎日実施しています。



2.作業に潜む危険を「見える化」(顕在化)する

作業開始前
全員参加の
TMB・RKYの実施

作業内容・危険要因の抽出

危険性の評価、ランク付け

安全対策と実施後の再評価

本日予定の実施作業項目を内容、手順・方法等周知及び
周囲の環境状況・作業時における危険ポイント・設備使用
時の注意事項等を説明する。

具体的な安全対策案
を発言し、実行する事
で危険箇所の低減を
行っています。

全員で危険の再評価
を行い危険度が下が
った事を全員で認識
し、それでも危険と思
われる項目について
本日のチーム行動目
標に設定します。
その対策案をワンポ
イン指差呼称で3回全
員で唱和を行います

作業内容(作業手順)	危険のポイント 主な危険がある(一応して-100%) (予想される災害)	危険の評価	危険を除去・低減するための 私たちがこころする (安全対策)
1 予ス組組のバルブ調整開始	旧管が倒れ落ちる	3/3	B 回報中きを返すだけ
2 管の端が目に入る		3/2	C 保護メガネの使用
3 管の端が目に刺さる		2/2	C 足元の2S
4 配水管への管調整	予り倒れ掛かる	3/3	B 人払いし作業を確実に
5 レーダー等の使用	作業場で目撃火	3/2	C 煙草の使用
6 調整作業で管を傷める		3/2	C フレシの使用

安全対策案: 人払いし作業を確実に



全員で指差呼称

3. 中間ミーティング



午前中までの各班ごとの工事進捗状況をチェックして部長・監督・棒心全員が工事全体が見える様にしています。また、午後からの危険作業等あれば全員に周知する事を徹底しています。現場の指揮者・監督・部長が安全に後戻り・手待ち作業が無いよう意見を出し合い工夫して、毎日作業段取りを決めています。

午前の作業進捗状況確認

作業危険箇所等を監督者に周知

午後からの作業内容を指示

午後からの作業開始

4.作業後の3S



毎日、作業終了後には防塵マスク・保護手袋を装着し使用部材等を1箇所にとめていきます。
明日の作業準備も合わせて行っています。
部材の整理・整頓と明日の作業段取りが終了後、作業台を掃除機等で粉塵が拡散しない様、丁寧にはいて粉塵の除去掃除を行っています。